

## 第1学年〇組 音楽科学習指導案

平成〇〇年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇時限 (第2音楽室)

指導者 〇〇 〇〇

### 1 課題について

- (1) 課題 音楽のよさを味わって聴くことができる生徒の育成
- (2) 育てたい生徒の姿

私は、音楽のよさを味わって聴くことができる生徒を育てたい。音楽のよさを味わうとは、音楽を形づくっている要素を知覚、感受し、それらの働きによって生み出される曲想との関わりを感じ取って聴くことである。さらに、音楽のもつ表現の豊かさや美しさに関心をもち、主体的に聴き味わう生徒を育てたい。

- (3) 生徒の実態

生徒はこれまで、音楽の授業に対して意欲的に取り組もうとする姿が見られる。しかし、楽曲を鑑賞し、「楽曲のよさ」について鑑賞文に表す場面では、楽曲を聴いて知覚、感受したことを基に味わって聴く姿にまでは至っていない。鑑賞で文章表現に取り組む際、既習の音楽記号や音楽を形づくっている要素[高低(旋律)、明暗(音色)、強弱]と音楽のよさとを結びつけて言葉にできる生徒は少ない。

そこで、本題材では、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら演奏したり、そのよさを味わって聴いたりする。このような活動を通して、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わう能力を育てたい。

### 2 題材について

- (1) 題材 音楽の魅力(主要教材:「魔王」)
- (2) 題材観

本題材は、音楽を形づくっている要素の働きに関心をもち、歌詞の内容や曲想を感じ取ることをねらいとしている。この鑑賞では、音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取って、音楽のよさや美しさを味わって聴くことをねらいとしている。音楽を形づくっている要素には、旋律、音色、強弱、リズム、速度など様々なものがあり、それらが密接に関係して一つの楽曲が作られている。生徒たちがそれぞれの要素の働きによって生み出される曲想を感じ取り、どのように表現されているのか、知覚、感受し味わって聴くことは大切である。

第1学年の最初の題材として、旋律、音色、強弱、リズム、速度などの様々な要素の働きに関心をもち、表現や鑑賞の活動を進めることは、主体的に音楽活動に関わっていく上で、大変意義深い。

- (3) 目標

音楽を形づくっている要素の働きに関心をもち、それぞれの楽曲の特質や雰囲気を感じ取りながら、明るくのびのびとした声で歌ったり、音の高低を工夫して旋律をつくったりすることができるようにする。また、情景の移り変わりや、音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取り、音楽のよさを味わって聴くことができるようにする。

- (4) 評価規準

- 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心をもち、主体的に活動に取り組もうとし

ている。

(関心・意欲・態度)

- 要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽表現を工夫して、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。(音楽表現の創意工夫)
- 姿勢や呼吸などに気を付けて、明るく伸び伸びとした声で歌ったり、基本的な奏法を身に付けて、美しい音色で演奏したりしている。また、フレーズのまとまりを感じ、音の高低を工夫して旋律をつくっている。(音楽表現の技能)
- 情景の移り変わりや音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って、そのよさや美しさを味わって聴いている。(鑑賞の能力)

5 指導計画と評価計画 (13 時間完了)

指導計画		評価計画	
学習内容	時数	観点	評価規準と評価方法
○ 合唱の表現に関心をもつ。	5	関	新しい仲間と一緒に歌う楽しさを感じ、主体的に歌おうとしている。 【活動】
		創	それぞれの曲の拍の流れや3拍子、4拍子を知覚し、それらの特質や雰囲気を感じている。 【発言・プリント】
		技	姿勢や呼吸などに気を付けて、明るく伸び伸びとした声で歌っている。 【演奏】
○ 楽器の演奏に関心をもち、基礎的な奏法を習得する。	2	関	アルトリコーダーの演奏に関心をもち、主体的に表現しようとしている。 【活動・演奏】
		技	スタッカート、レガートなどの基礎的な奏法を身に付け、美しい音色で演奏している。 【演奏】
○ 情景の表現とのかかわりのおもしろさを感じ取る。	本時 2 1/2	関	情景の変化と表現との関わりのおもしろさに気づき、主体的に聴こうとしている。 【活動】
		鑑	要素を知覚・感受しながら、情景の移り変わりや音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【発言・プリント】
○ 曲の表情と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取る。	4	関	曲想と音楽を形づくっている要素との関わりに関心をもち、主体的に活動に取り組もうとしている。 【活動・発言】
		創	速度の変化や二部形式、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、楽曲の情景や表情を感じ取って、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。 【活動・発言】
		技	フレーズのまとまりを感じ、音の高低を工夫して旋律をつくっている。 【演奏】

6 本時の指導

- (1) 目標 情景の移り変わりを感じ取り、音楽を形づくっている要素[高低(旋律)、明暗(音色)、強弱]などとの関わりを知覚しながら鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
- (2) 準備 教師：自己評価シート、「魔王」個人ワークシート、グループワークシート、拡大ワークシート、CD、音楽要素カード、歌詞和訳プリント、ポインター、のり
- (3) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
2分	1 本時の学習内容とめあてを知る。	○ 本時の学習内容と目標を板書し、今回は「意欲・関心」について授業をすることを伝える。
5分	2 「魔王」について知る。  (1) 作詞者、作曲者、演奏形態について知る。 (2) 曲名、登場人物がどんな人物であるかを知る。	○ 音楽室のカーテンを閉めて雰囲気作りをする。 ○ ワークシートを使って質問形式で書き込ませる。 ○ どの登場人物が歌っているか分かるようなワークシートを活用し、魔王にどんな登場人物が出てくるのか確認させる。 ○ 大きくした登場人物カードを掲示することで、一緒に確認していく。
40分	3 情景の移り変わり要素を知覚して聴き取る。	○ それぞれの要素に着目させ、役や歌詞の内容と結び付いてどんな表現の変化が起きているのか、時間の推移を示して捉えさせる。
(15分)	(1) それぞれの要素について、記述の仕方を理解する。	○ 合唱コンクールで歌唱し、なじみのある「HEIWAの鐘」を例に考えさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>① 高低(旋律)</p> <p>○ 「HEIWAの鐘」の旋律の高低を混合にした歌唱を聴かせ、高低の変化に気付かせる。 &lt;記述例&gt;</p> <p>○ 子どもの声がだんだん高くなり、怖そうに叫んでいる。</p> <p>② 明暗(音色、調性)</p> <p>○ 「HEIWAの鐘」を長調と短調で歌唱して聴かせ、明暗に気付かせる。 &lt;記述例&gt;</p> <p>○ 魔王の音がずっと明るく優しいが、最後に突然暗くなり、恐怖を感じる。</p> <p>③ 強弱</p> <p>○ 「HEIWAの鐘」を強弱混合にして歌唱して聴かせ、強弱に気付かせる。 &lt;記述例&gt;</p> <p>○ 子どもの音が終わりに向かって強くなり、父に必死に訴える様子が分かる。</p> </div>		





(10分)	(2) 5人グループに分かれ、時間軸を示したワークシートを用いて、「魔王」を要素別に聴き取りをする。	○ 要素の記述例に習って、ワークシートに感じた特徴を書き込むよう伝える。
(10分)	(3) グループで聴き取ったことをグループワークシートにまとめ、要素の特徴から気付いたことや感じたことを発表する。	○ 生徒がワークシートにまとめた内容を参考に教師が拡大ワークシートに書き込んでいく。
(5分)	(4) まとめた拡大ワークシートと歌詞を並べて要素と歌詞の関わりを確認する。	○ 役を形づくっている要素と情景の変化との関わりを理解させる。
<p><b>評価事項</b></p> <p>「後半の手前で、音が高くなり、悲鳴にも似た歌声は、恐怖を表しているような感じ。」や「魔王が明るく優しい歌声から、最後に突然暗く迫力のある歌声に変化し、何か悪いことが起きたように感じた。」など、それぞれの受け持った要素に耳を傾けて、歌手の表現方法の変化について記述したり、発言したりしている。</p> <p>【発言内容・ワークシート】(関心・意欲・態度)</p> <p>□…ワークシートに記述できない生徒には、聴き取る部分を絞って要素について着目させ、聴き取った内容をワークシートに書くことができるよう支援する。</p> <p>☆…今回注目した[高低(旋律)・明暗(音色)・強弱]の要素がどのように関わり合っ て、「魔王」の表現に結びついているか自分の考えを記述するよう助言する。</p>		
3分	4 自己評価シートで授業を振り返る。	○ 本時の学習を振り返り、評価の観点は「意欲・関心・態度」についての自己評価を書かせる。

曲名「

」…作詞者

作曲家








♪演奏形態♪

♪登場人物♪ ①  ( ) ②  ( ) ③  ( ) ④  ( )

♪要素について♪ ☆高低 (旋律) ☆明暗 (音色) ☆強弱

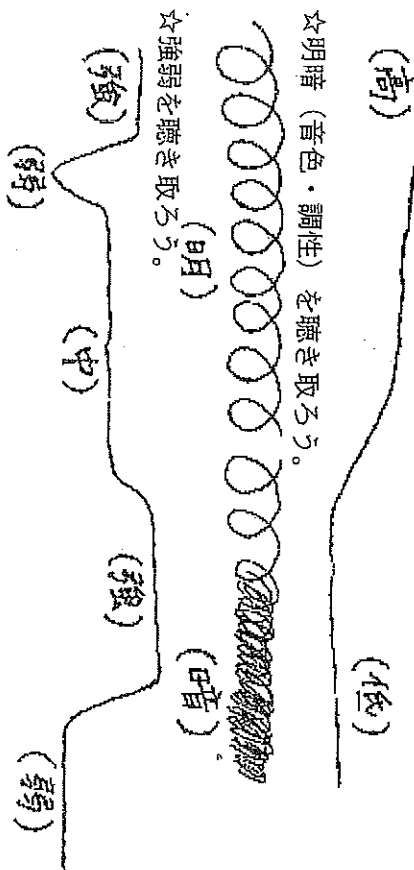
僕、私は  について聴き取ります。







<スタート♪>

						
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....

◎ 「HEIWA の鐘」 で試してみよう♪  
 ~ほくらうまれたこの世に ませきをかこしておなひか~  
 ☆高低 (旋律) を聴き取るう。

1年 組 番 名前



					
.....	.....	.....	.....	.....	.....

<ゴール♪>

## <授業の台本>

暗幕、カーテンを引いて教室を薄暗くしておく。黒板に拡大ワークシートを掲示しておく。

①(チェックシートの配付(音楽係)始業前に配る。)グループ席移動。

②挨拶

③今日は鑑賞の授業を行います。いつもと違うよね?どんな感じ?ちょっと暗いよね。不気味?この雰囲気ではある曲を聴いて学習していきたいと思います。それでは、チェックシートに今日の目標を記入して下さい。「要素の変化を聴き取ろう」

●それでは、まず、みなさんにプリントを2枚配ります。まず、1枚目を配ります。

●今日は、2枚のプリントをのり付けして、長い状態で使います。今配ったプリントの右側に「下のりづけ」と書いてある場所をのり付けして、2枚の紙をつなげます。それでは、2枚目をもらったら、のり付けをはじめてください。(2枚目を配る。)

⑥それでは、プリントには名前が書いてありますか?教科書の\_\_\_\_ページを開いて下さい。

⑦まず、今日鑑賞する曲は「魔王」です。プリントに記入しましょう。「魔王」について、みんなでプリントに確認事項を記入していきますので、分かるところは手を挙げて教えて下さい。(拡大ワークシートに書き込む。)

・作詞者 ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ

・作曲者 フランツ・ペーター・シューベルト

・演奏形態 ドイツ リート … ドイツの歌曲。ピアノ伴奏付きの独唱曲を、シューベルトは多く残した。

・登場人物 4人。 父 子 魔王 語り手

⑧では、今日の鑑賞では、「魔王」の聴き取りをします。どんな風に聴き取るかのお話をするので、よく聴いて下さい。

⑨音楽には、音楽を形づくる「要素」というものがあります。今回は高低(旋律)、明暗(音色)、強弱の3つの要素について、(要素を書いた掲示物を掲示する。)みなさんに聴き取りをしてもらおうと思います。

⑩でも、3つも一度に聴き取ることはとても難しいので、今日は一人一つの要素に絞って聴き取っていきます。

⑪では、それぞれの要素別に聴き取り方と、書き方の練習をしてみます。それでは、ワークシートの右上にある、「HEIWAの鐘」で試してみよう!~を見てください。今から、3つの要素について、先生が分かりやすく歌い分けます。みなさんは、歌詞に合わせて鉛筆で、線をなぞってください。

⑫それでは練習をしてみます。最初は旋律の高低について聴き取ります。書き方は線の波のように書きます。~ぼくらのうまれたこの星に きせきを~できましたか?急に音が下がるとどんな感じ?

⑬次に、音色や調性といった、明暗について聴き取ります。明暗は○と黒●のように書いていきます。やってみましょう。暗くなるとどんな情景が思い浮かぶ?

⑭最後に、強弱について聴き取ります。強弱は高低と同じように、線の波で表します。では始めます。強くなるとどんなイメージ?弱くなると?

⑮ではグループに分かれて要素の担当を決めます。3要素の受け持ちについては、高低2人、明暗2人、強弱1人とします。決定したら、プリントの「僕、私は□について聴き取ります。」に聴き取る要素名を書いてください。それぞれの担当要素を聴き取ったら、グループ内で3要素をまとめますからね。責任をもって行ってくださいね。それでは、グループで担当を話し合ってください。

⑯決まりましたか?では、今からいよいよ鑑賞を始めます。みなさんには、ワークシートのスタートからゴールまで、「魔王」1曲分の聴き取りをしてもらいます。縦に点線があるところで、歌の役柄が変わります。点線の上の顔を見てもらうとわかります。はじめは語り手、次に父、子という順番です。途中、ピアノ伴奏が入りますが、今日は歌声のみを聴き取って線を記入してください。書く速さについては、先生がポインターで示します。それ

を参考に線を書いてください。1回しか聴きません。では、要素についての聴き取りを始めます。頑張らましよう。

<鑑賞>ポインターで曲の進度を追って指していく。

⑰それでは、拡大ワークシートを配ります。(プロッキーを配る)グループで高低は赤、明暗は青、強弱は黒で記入してください。意見の違うところは、話し合って記入してください。また、聴き取った、要素が変化する形から、どんな情景が想像できますか?あいているところに言葉で記入していきましょう。5分で書き込みます。書き終わったら、発表してもらいます。

⑱では、きょうのまとめに入っていきます。グループの拡大ワークシートについて気付いたことを発表してください。→黒板の拡大シートにプロッキーで書き込む。

※強くなるどころと、声が高くなるどころが同じ。※「魔王」の声が最後、急激に変化した。など。

⑲それでは、最後に歌詞のプリントを配ります。こちらもノリで貼ってください。貼ったら、歌詞と聴き取った線を見比べてみてください。どうですか?音楽の要素と歌詞の内容には関わりがありそうですね。

それぞれの役には役を特徴づける要素の変化があつて、情景と一緒に変化していくことが分かりましたね。

.....

⑳では、チェックシートで今日の授業の振り返りをしましょう。今日は、目標達成と、①の一生懸命のみ記入してください。

これで終わります。

挨拶。